

## 第26回 医療安全管理者ネットワーク会議 in 東京

# 内服薬の患者誤認投与の撲滅に向けて 患者安全を担保した内服薬与薬手順の作成・導入と実践 ～ 現場で行うべき医療安全行動の業務手順 ～

医療提供に当たって、人や物を取り違えないのが基本です。本ネットワーク会議では、平成26年の“第14回ネットワーク会議 in 北海道”以来、患者誤認防止のための手順作成に取り組み、これまでの経過と作成した手順について、平成29年の第12回医療の質・安全学会教育セミナーで報告しました。

第26回ネットワーク会議では、内服薬誤認投与によって重大事故が起きている現状を鑑み、“内服薬の患者誤認投与の撲滅に向けて”をテーマに開催することとしました。講師は、日本医療機能評価機構の坂口美佐先生です。先生から、機構に報告された内服薬の患者誤認投与の実態をお聞きし、グループワークで、内服薬の患者誤認投与の撲滅に向けた手順を検討したいと思います。現場の医療安全管理者の方に数多く参加いただき、**内服薬の患者誤認投与の撲滅を実現する手順**を考えたいと思います。



ネットワーク委員会担当理事  
嶋森 好子  
(岩手医科大学看護学部)

## プログラム

### 1. 開会挨拶・趣旨説明

医療の質・安全学会 ネットワーク委員会担当理事  
岩手医科大学 嶋森 好子

### 2. 基調講演

(仮) 医療事故情報収集等事業への報告事例から考える  
～与薬時の患者または薬剤の間違い防止について～

日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部 部長  
坂口 美佐先生  
座長 北里大学病院 荒井 有美

※ 昼食・休憩 (ランチ無料提供あります)

### 3. 医療安全管理者ネットワーク会議のこれまでの取組みと内服薬与薬手順作成

名古屋大学医学部附属病院 寺井 美峰子

- 1) 医療安全管理者ネットワーク会議が決めた手順の導入  
患者確認に関する方針・手順  
輸血実施における患者と血液製剤の取り違え(患者誤認)予防手順
- 2) グループワーク説明  
内服薬の準備後から患者への与薬までの患者誤認予防手順検討



### 4. グループワークと発表・意見交換

### 5. まとめ・閉会 受講証明書を発行いたします

多職種の皆様のご参加をお願い致します (医療安全管理者、医師、薬剤師、など)  
自施設の内服薬与薬に関する手順書、マニュアル書をご持参ください

主催:一般社団法人医療の質・安全学会ネットワーク委員会

後援:ニプロ(株)

日時:平成30年3月4日(日)11:00~17:00

会場:東京都看護協会2階サークル室 〒162-0815 東京都新宿区築土八幡町4-17

対象:医療安全管理者、医療安全管理を担う者

定員:100名(定員になり次第締め切り)

参加登録:医療安全管理者ネットワーク ホームページにて受付

<http://qsh.jp/医療安全管理者ネットワーク/>

参加費:医療の質・安全学会会員(5,000円) 非会員(8,000円) 参加費事前振込制

振込先等:三菱東京UFJ銀行 本郷支店(店番351)普通 0212775

一般社団法人医療の質・安全学会 シヤ)イリヨウノシツアンゼンガツカイケンシユウカイ

※一度納入された参加費は理由の如何を問わず返却致しません。

※参加登録完了メールにある受付番号を振込人の氏名の前にお付けください。

(受付番号)+(氏名)

備考:参加登録完了メールを印刷してお持ちください。参加受付用紙(受付番号記載あり)となります。

## アクセス



JR中央・総武線:飯田橋駅 東口から徒歩7分

東京メトロ(東西線・有楽町線・南北線):飯田橋駅 出口B1から徒歩6分

都営大江戸線:飯田橋駅 出口C1から徒歩5分

## 問合せ・緊急連絡先

一般社団法人医療の質・安全学会 事務局 E-Mail [secretary@qsh.jp](mailto:secretary@qsh.jp) TEL 03-5803-7828

〒113-0033 東京都文京区本郷2-29-1 渡辺ビル201号室

【ネットワーク会議当日の緊急連絡先は「090-9814-2176」※当日以外は通じませんことご了承ください。】